

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-46 □支援部門		国民健康保険高額療養資金貸付事業				
主管課	保険年金課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	被保険者が高額医療の急な支払いに対応することができる。						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
	事業の対象者数						
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	0千円	0千円	0千円			
	(国・県)	0千円	0千円	0千円			
	(負担金等)	0千円	0千円	0千円			
	(一般財源)	0千円	0千円	0千円			
	人員配置数						
	人件費(千円)						
事務事業運営経費	総事業費(千円)						
	市民1人当りの経費(円)						
	対象者1人当りの経費(円)						
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。
小事業名	H22決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
国民健康保険高額療養資金貸付事業	0千円	①効率性 △ ②妥当性 △ ③有効性 △ ④公平性 △	⇒	□A □B □C □D ■E
	事業の概要	高額な療養費の支払いが困難な者に対し、高額療養費の支給見込み額を限度として貸付けを行うもの		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)	
H22年度の課題	近年において新規の当該貸付事業の利用者は、皆無であるが、当該貸付事業を廃止した場合における制度上の不整合について詳細な検討が必要であること。
課題解決のための取組	県の助言を受け、検討をした。
未解決の課題	当該貸付事業の存続意義は希薄であるが、当該事業を廃止場合にどのような制度上の不整合が生じるかの最終検討が終わっていないこと。
今後の方針	他市の状況の把握を行い、貸付条例の廃止についての検討を行う。
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 ⇒ E ※ □事業完了 課長名 保険年金課長 相澤 昭弘

